

スキルアップ資格

ASサポーター

自閉症スペクトラムの特性を理解し活かせる支援者



▲日本自閉症スペクトラム学会 事務局長 寺山先生による特別講義（TV会議システムで全国に配信）

「30人学級で1～3人」、支援が必要とされる児童生徒たちの割合です。
 あなたが目の前の子にできることは何でしょうか？この資格でそれと一緒に見つけないか？

資格取得者の声

教員免許状と資格を同時取得

「まだ自閉症スペクトラムに理解のある方は少ない中、この資格は社会的信用と他の先生へのアピールです。」

星槎大学で小学校の教員免許を取得してから、川崎市・横浜市で小学校3～4年生の算数少人数指導、個別支援級などを担当しております。

小学校の校長先生との採用面接では、これらの証書をお見せしたところ、この学校にも、教室で支援を求めている子どもがいる、願ってもない人材だ、というような歓迎をされ、恐縮してしまいました。

私には、発達検査でアスペルガーと診断された高校3年生の息子がいます。小学校の時、体と心のバランスを崩しがちで、周囲の理解や支援が今ほどなかったため、母親の自分を責め、迷い、悩んだ時期が長くありました。星槎大学で、同じ立場の方とも知り合い、一緒に勉強を進める中で、「今の学校は子どもの多様なニーズに合っているだろうか？」との思いから小学校の教員免許状取得を目指すことにしました。

実際、小学校の現場に入って感じたことは、先生方は、日々、目の前の子どもの安全、安心、健康を守ることに始まり、心の問題、友達間のトラブル解決、学力向上、授業研究や保護者からの要望に応える、朝から晩までフル回転されています。それに加え、増加する保健室登校や特別支援が必要な子どもへのきめ細かい対応が要求されるようになってきました。私のような教員は、民間の会社勤めや子育てをしてきた経験を活かし、保護者の気持ちにも寄り添えると思います。

意外と、小学校の教員免許を目指す、私くらいの世代の方は、星槎大学にたくさんいらっしゃいます。励まし合って、単位取得の勉強をしたのが、いい思い出です。

私の小学校の卒業文集は「せんせい、って呼ばれる仕事がしたい」と書きました。回り道してしまいましたが、今、40年かけて、夢がかないました。

自閉症スペクトラム学会とつながりながら、教員と保護者の橋渡しとなる、私にしかできない仕事をするのが、次の目標です。



▲村谷 弘美 さん
 【本学での取得免許・資格】
 ・小学校教員免許状
 ・ASサポーター
 ・支援教育専門士
 ・小学校外国語活動指導者